青森県経済統計報告

　　　令和元年11月6日

企画政策部統計分析課

１　青森県の推計人口（令和元年10月1日現在）……………………………………………………　 1

|  |
| --- |
| 県人口　1,246,291人（対前月586人減少）  自然動態　　847人減少（出生者数　 569人、死亡者数　1,416人）  社会動態 261人増加（転入者数 1,592人、転出者数 1,331人） |

２　本県の経済動向（令和元年8月・9月の経済指標を中心として）

（１）経済概況

|  |
| --- |
| 本県経済は、緩やかに回復している。  景況感（青森県景気ウォッチャー調査結果）をみると、現状判断ＤＩは４０．２、先行き判断ＤＩは３３．８と、いずれも５０を下回った。 |

（２）主要経済指標の動向

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| (2-1) | 生産動向 | ・令和元年8月の**青森県鉱工業生産指数**(平成22年＝100)は、季節調整済指数が 106.1 で、前月比5.4％の低下となり、2カ月ぶりに前月を下回った。また、原指数は 100.0 で、前年同月比 4.9％の低下となり、2カ月ぶりに前年同月を下回った。 | … | 2 |
| (2-2) | 雇用労働 | ・令和元年8月の**定期給与**は221,368円で前年同月比0.6％減となった。**総実労働時間**は148.6時間で前年同月比2.6％減、**所定外労働時間**は10.3時間で前年同月比2.8％減となった。  ・令和元年9月の**有効求人倍率**（季節調整値）は1.22倍で、前月を0.02ポイント上回った。 | … | 3 |
| (2-3) | 物　　価 | 令和元年9月の**青森市消費者物価指数**（平成27年=100)は、総合指数が102.7となり、前月と同水準、前年同月比0.6％の上昇となった。また、生鮮食品及びエネルギーを除く総合指数は102.4となり、前月と同水準、前年同月比0.7％の上昇となった。 | … | 5 |
| (2-4) | 個人消費 | ・令和元年9月の**百貨店・スーパー販売額**は、全店舗ベースが138億円で前年同月比5.6％増となり、2カ月連続で前年同月を上回った。また、既存店ベースでは前年同月比6.6％増となり、2カ月連続で前年同月を上回った。  ・令和元年9月の軽乗用車を含めた**乗用車新車登録・届出台数**は4,618台で、前年同月比11.9％増となり、3カ月連続で前年同月を上回った。  ・令和元年9月の主な観光施設の**観光入込客数**は、868千人で前年同月比4.3％減となり、4カ月連続で前年同月を下回った。また、主な宿泊施設の**宿泊者数**は、145千人で前年同月比2.4％減となり、2カ月連続で前年同月を下回った。 | … | 6 |
| (2-5) | 建　　設 | ・令和元年9月の**新設住宅着工戸数**は631戸で、前年同月比6.7％減となり、2カ月ぶりに前年同月を下回った。  ・令和元年9月の**公共工事請負額**は212億9,300万円で前年同月比5.2％増となり、2カ月ぶりに前年同月を上回った。 | … | 7 |
| (2-6) | 企業倒産 | 令和元年9月の**企業倒産**は、件数は2件で前年同月比33.3％減となった。負債総額は4,300万円で前年同月比99.1％減となった。 | … | 8 |

（３）景気動向指数ＣＩ（令和元年８月分）………………………………………………………　 …　 　9

|  |
| --- |
| 先行指数　 107.7（前月を4.3ﾎﾟｲﾝﾄ上回り、2カ月連続で上昇した）  一致指数　 124.9（前月を4.3ﾎﾟｲﾝﾄ下回り、2カ月ぶりに下降した）  遅行指数　 105.4（前月を2.5ﾎﾟｲﾝﾄ下回り、2カ月連続で下降した） |

（４）青森県景気ウォッチャー調査（令和元年１０月期） ……………………………………　…　 10

|  |
| --- |
| 3カ月前と比べた景気の現状判断ＤＩ…40.2（前期比6.3ポイント減、7期連続で50を下回る)  3カ月後の景気の先行き判断ＤＩ………33.8（前期比10.2ポイント減、2期連続で50を下回る） |





**（２－２）雇用労働**

**（２－２－１）給与・労働時間（毎月勤労統計調査結果）**

　令和元年8月の定期給与は221,368円 で、定期給与指数（平成27年＝100）では102.5となり、前年同月比0.6％減と2カ月連続の減（現金給与総額238,878円、現金給与総額指数95.3、前年同月比1.5％減）となった。また、実額で比較した定期給与の全国対比は83.7となった。

　総実労働時間は148.6時間で、総実労働時間指数は96.1となり、前年同月比2.6％減と12カ月連続の減となった。このうち、所定外労働時間は10.3時間で、所定外労働時間指数は89.6となり、前年同月比2.8％減と19カ月連続の減となった。





**（２－２－２）有効求人倍率**

令和元年9月の有効求人倍率（季節調整値）は1.22倍で、前月を0.02ポイント上回った。就業地別有効求人倍率は1.34倍で、前月を0.02ポイント上回った。



（参考）充足率（新規学卒者を除きパートタイムを含む）

　令和元年9月の充足率は20.1％で、前年同月を1.9ポイント上回った。



**（２－３）物価**

　令和元年9月の青森市消費者物価指数（平成27年=100)は、総合指数が102.7となり、前月と同水準、前年同月と比べ0.6％の上昇となった。

　生鮮食品を除く総合指数は102.7となり、前月と比べ0.3％の下落、前年同月と比べ0.4％の上昇となった。

生鮮食品及びエネルギーを除く総合指数は102.4となり、前月と同水準、前年同月と比べ0.7％の上昇となった。

　総合指数が前月と同水準となった内訳を寄与度でみると、食料（生鮮魚介など）などの上昇、光熱・水道（他の光熱など）などの下落が要因となっている。

　総合指数が前年同月と比べ0.6％の上昇となった内訳を寄与度でみると、食料（生鮮魚介など）、被服及び履物（履物類など）などの上昇が要因となっている。





　※　**寄与度**とは、ある費目の指数の変動が、総合指数の変化率のうち何ポイント寄与したかを示した  
 ものであり、全費目の寄与度を合計すると、原則として、総合指数の前月比及び前年同月比（％）

の値に一致する。

前月比、前年同月比及び寄与度は、端数処理前の指数値を用いて計算しているため、公表された

指数値を用いて計算した値とは一致しない場合がある。

　本資料は総務省統計局「小売物価統計調査」の調査票情報を独自集計したものである。

**（２－４）個人消費**

**（２－４－１）百貨店・スーパー販売額**

令和元年9月の百貨店・スーパー販売額は、全店舗ベースが138億円で前年同月比5.6％増となり、2カ月連続で前年同月を上回った。また、既存店ベースでは前年同月比6.6％増となり、2カ月連続で前年同月を上回った。



　＊　大型小売店は従業員が50人以上で売場面積が1,500平方メ－トル以上の商店をいう。

そのうち、既存店とは、当月及び前年同月とも調査の対象となっている商店をいう。

**（２－４－２）乗用車新車登録・届出台数**

令和元年9月の軽乗用車を含めた乗用車新車登録・届出台数は4,618台で、前年同月比11.9％増となり、3カ月連続で前年同月を上回った。普通車、小型車及び軽乗用車のいずれも増加したことによる。



**（２－４－３）観光入込客数・宿泊者数**

令和元年9月の主な観光施設の観光入込客数は、868千人で前年同月比4.3％減となり、4カ月連続で前年同月を下回った。また、主な宿泊施設の宿泊者数は、145千人で前年同月比2.4％減となり、2カ月連続で前年同月を下回った。観光施設は五所川原市、西目屋村等の施設で減少し、宿泊施設は青森市、むつ市等の施設で減少したことによる。

 

**（２－５）建　　設**

**（２－５－１）住宅建設**

　令和元年9月の新設住宅着工戸数は631戸で前年同月比6.7％減となり、2ヵ月ぶりに前年同月を下回った。持家及び貸家が減少したことによる。

**（２－５－２）公共事業**

令和元年9月の公共工事請負金額は212億9,300万円で前年同月比5.2％増となり、県、独立行政法人等などの増加により2カ月ぶりに前年同月を上回った。また、令和元年9月までの累計金額は1,299億円で前年同期比10.7％増となった。



**（２－６）企業倒産**

　令和元年9月の企業倒産は、件数は2件で前年同月比33.3％減となった。負債総額は4,300万円で前年同月比99.1％減となった。また、令和元年9月までの累計倒産件数は38件で前年同期比81.0％増、負債総額は54億4,700万円で前年同期比17.7％減となった。



**（３）青森県景気動向指数**

　令和元年８月の青森県景気動向指数（ＣＩ）は、先行指数107.7、一致指数124.9、遅行指数105.4となった。

　先行指数は、前月を4.3 ﾎﾟｲﾝﾄ上回り、２カ月連続で上昇した。

一致指数は、前月を4.3 ﾎﾟｲﾝﾄ下回り、２カ月ぶりに下降した。

遅行指数は、前月を2.5 ﾎﾟｲﾝﾄ下回り、２カ月連続で下降した。

８月の一致指数は生産、雇用関連の指数がマイナスになったことから下降した。





